

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション科に、嚥下障害で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここでご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

嚥下造影検査データの疾患別・所見別評価と分析に対する後ろ向き研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 講師 西郊靖子

3. 研究の目的

個々の嚥下造影検査のデータを疾患別、病期の罹患年数や病気の状態によって嚥下（食べ物の飲み込み）の状態が変わるのか、疾患による嚥下障害の特徴を明らかにし、障害分類を行うことで嚥下障害によっておこる誤嚥性肺炎や窒息の予防とリハビリテーションによる状態改善の方法を検討します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

嚥下障害（食べ物が飲みにくい症状）の患者さんで、平成29年4月1日から平成31年3月31日までの期間中に、嚥下造影検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、診療録による病気の状態、日常生活の自立度、嚥下造影検査の評価（食べ物が通過する時間と誤嚥の有無）に関する情報です。

(3) 方法

診療録によるお体の状態（年齢、性別、疾患名、病歴、内服、合併症、麻痺の有無、日常生活の自立度）と嚥下造影検査の評価を統計を用いて2群間の比較検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座 担当医師 西郊靖子

TEL : 073-441-0664 FAX : 073-446-6475 E-mail nishioky@wakayama-med.ac.jp